

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:2023年 3月 25日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

保護者等数(児童数)6 (6) 回収数 6 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				・園庭もあり、広いスペースがある。 ・広々とあそべて楽しそう。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	6				・適切である	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6				・身支度などもカードを使い、できるようになった。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1			・新しく綺麗。いつも清潔にされている。 ・水回り等いつもきれいな。	・引き続き保育後に清掃を行い清潔を保ちます。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6				・子どもをよく見て、作成されている。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			1	・具体的な支援内容が設定されている。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6				・目標に沿った支援がされている。	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6				・いろんな活動を取り入れている。	
保護者 への 説明 等	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	1	・隣の保育園と交流する機会があった。	・引き続き、隣接する保育園などとの交流の機会を検討していきます。
	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6				・説明されている。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5				1	・個別に話せる機会がありました。 ・今後も保護者に分かりやすい説明を行ないます。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6				・学習会などで学んでいる。 ・どう接したら良いのか等、疑問についてすぐ相談に乗ってもらえる。	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	6				・引継ぎ時間があり、伝えあうことが出来ている。	
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6				・個人懇談があり、直接相談できています。	
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6				・親子で通うので、保護者同士の交流もできる。 ・交流会の場を設けられている。	
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6				・こちらの申し入れには適切に対応されている。 ・迅速な対応。精神的なケアもして下さり、助かる。	
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	1			・情報を伝える体制がある。	
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6				・月1発行のおたよりでわかりやすい。 ・年間予定が早めにわかると良い。	・年間予定を作成し、保護者へ周知していきます。
	⑲ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6				・注意されている。	
非常時 等の 対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1	1	2	2		・マニュアルの見直し、定期的な訓練を計画していきます。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1		3	2		・訓練実施の周知、定期的な訓練を計画していきます。
満足 度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	6				・嬉しそうに準備しています。 ・いつも楽しそうです。	
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	6				・毎回楽しく通っていて満足している。 ・とても満足している。	

〇この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:2023年 3月 25日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

保護者等数(児童数)22(24) 回収数 17 割合 77 %

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	1			・園庭もあり、スペースは十分。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16			1	・利用人数に対して、職員数も確保されている。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3	3	1		・必要に応じて、修繕やバリアフリー化を検討します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	17					
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16	1				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	6	6	・送迎時に兄弟との関りがあるぐらい。	・児童館などとの交流の機会を検討します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	16			1		
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16			1	・丁寧に説明されている。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	6	2	・機会があれば参加したい。 ・お迎え時に保護者同士が会える機会がある。	・送迎時以外での保護者同士の交流ができる機会の企画を検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		3	・苦情を出したことが無いのでわからない。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15		1	1	・お迎え時に会話する機会がある。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16		1			
14 個人情報に十分注意しているか	17						
非常 時等 の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12	3	1	1	・防犯マニュアルとはどういうものなのか？	・マニュアルを見直し、改めて保護者への周知をします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1	1	7	・訓練が定期的にとどのように行われているかわからない。	・訓練実施の内容をおたよりなどで保護者に周知していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17				・毎回楽しみに通っている。	
	18 事業所の支援に満足しているか	17				・満足している。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:2023年 3月 25日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	2 職員の配置数は適切である	3			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		入口にスロープを設備するなどしています。また子どもの姿に合わせて、生活の流れが分かりやすい環境づくりを心がけています。	

業務改善	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		毎回の清掃と必要に応じて修繕を行なっています。	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		支援計画作成に当たり、支援に関わる職員で担当者会を行なっています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		集計結果をHPIにて公表、おたよりにて保護者へ周知しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		同法人の別事業所と業務改善の検討会を実施しています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		毎回支援の振り返りを行ない、次のプログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		朝の打合せにて、プログラム内容、欠席、注意事項を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		保育終了後に、職員間で振り返りを行なっています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3			
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	医療的ケアの必要な児童の受け入れ実績がありません。	必要に応じて、関係機関との連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	医療的ケアの必要な児童の受け入れ実績がありません。	必要に応じて、関係機関との連絡体制を整備します。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		引継ぎ資料を作成し、情報提供をしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	小学校への移行支援の実績がありません。	必要に応じて情報提供等を行いません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			

保護者への説明責任等	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		隣接する同法人の保育園と行事にて交流を行なっています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している	3			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		毎回、保護者との朝の引継ぎと帰りの振り返りを行なっています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3		子どもと保護者の状況に応じて、必要な研修などを行なっています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		引継ぎ時間での相談や必要に応じ個別の懇談を行なっています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		保護者同士の交流の場を設けています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		毎月おたよりを発行し、活動内容や保育予定を周知しています。	
非常時等の対応	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3		外部へ情報提供する場合は、保護者への同意を得るようにしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3			マニュアルの見直しを行ない、定期的な訓練の実施を計画していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		定期的には行えていませんが、訓練を実施しています。	定期的な訓練が実施できるよう計画をしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3		必要に応じ対応しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		保護者を通して、医師の指示に基づいて対応を行なっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハットの事例から、改善策を検討し、大きな事故につながらないよう努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

### 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年 3月 28日

事業所名 デイサービスみどりそよ風

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3			
	2 職員の配置数は適切である	3			

・体制整備	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		入口にスロープを設備するなどしています。また子どもの姿に合わせて、生活の流れが分かりやすい環境づくりを心がけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3		毎回の清掃と必要に応じて修繕を行なっています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		支援計画作成にあたり、支援に関わる職員で担当者会を行なっています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3			集計結果をHPにて公表、おたよりにて保護者へ周知しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		同法人の別事業所と業務改善の検討会を実施しています。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3			
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		毎回支援の振り返りを行ない、次のプログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	3			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		朝の打合せにて、プログラム内容、欠席、注意事項を確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		保育終了後に、職員間で振り返りを行なっています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2	医療的ケアの必要な児童の受け入れ実績がありません。	必要に応じて、関係機関との連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	2	医療的ケアの必要な児童の受け入れ実績がありません。	必要に応じて、関係機関との連絡体制を整備します。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3		引継ぎ資料を作成し、情報提供をしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	1	小学校への移行支援の実績がありません。	必要に応じて情報提供等を行ないません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		隣接する同法人の保育園と行事にて交流を行なっています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		毎回、保護者との朝の引継ぎと帰りの振り返りを行なっています。	

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3		子どもと保護者の状況に応じて、必要な研修などを行っています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		引継ぎ時間での相談や必要に応じ個別の懇談を行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3		保護者同士の交流の場を設けています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		毎月おたよりを発行し、活動内容や保育予定を周知しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3		外部へ情報提供する場合は、保護者への同意を得るようにしています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3			マニュアルの見直しを行ない、定期的な訓練の実施を計画していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		定期的には行えていませんが、訓練を実施しています。	定期的な訓練が実施できるよう計画をしています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	3		必要に応じ対応しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		保護者を通して、医師の指示に基づいて対応を行っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3			ヒヤリハットの事例から、改善策を検討し、大きな事故につながらないよう努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。